

## 「令和3年度講演会・調査研究発表会」を開催

令和3年度の講演会・調査研究発表会が、令和3年7月20日（火）に開催（LIVE 配信）され、賛助会員・一般の皆様より約100名のご視聴をいただきました。

《講演会》「カーボンニュートラル時代における道路や車の未来について」

講師：中野 冠 氏（慶応義塾大学大学院 S DM 研究所顧問）

《調査研究発表会》

- ・ ETC2.0 と OBW（On Board Weighing）の連携方法に関する検討
- ・ 近未来の車・道路と関連産業に関する調査研究
- ・ 地方部自動運転サービスの社会実装・展開について
- ・ 次世代モビリティと求められる道路・都市空間について
- ・ 特車ゴールドなどの申請に用いる ASL-ID 問い合わせ対応について
- ・ ETC2.0 特定プローブデータ配信サービスの用途拡大と ETC2.0 拠点用路側機の機能拡充に関する研究

### ■ アンケートについて ■

開催にあたり、参加者の皆様を対象に内容についてアンケートを実施いたしました。ご協力いただきましてありがとうございました。

皆様から頂いた貴重なご意見を参考に、より充実した講演会・調査研究発表会となるよう取り組んでまいります。主なご意見は以下のとおりです。

### ◆ 講演会について

「持続可能性社会の3つの鍵（先見性・多源性・包括的）」、「環境自動車政策に関する研究について（次世代高度自動車社会・自動車グローバル市場）」、また、「空飛ぶクルマ」についてなど「大変興味があった」テーマであり、「大変参考になった」とご好評をいただきました。

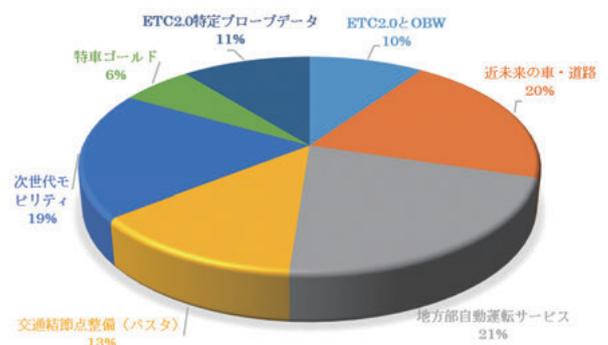
今後は、「蓄電池、太陽光発電、風力発電等の開発状況と今後の展開」、「歩行者利便増進道路の活用」、「ニューノーマル時代における公共交通や次世代モビリティのあり方について」等のテーマについて聴講したいとのご意見がありました。

### ◆ 調査研究発表会について

幅広いテーマにおいて、最新動向と併せて今後の検討の方向性・ヒントにつながる報告が多く、有意義な研究発表内容であったとの評価をいただきました。

また、視聴方法がWEB方式（LIVE 配信）となり、より多くの人数が各地域から参加できるようになった。次年度以降も同様の方式で開催して欲しいとの声が多くありました。

一方で、専門的な内容については理解できない部分があるため、資料をもっとわかりやすくしてほしい。1テーマごとの発表時間が短く駆け足であったことが残念であるとのご意見をいただきました。



興味深かったテーマ（複数回答可）